

テーマ	事業タイプ	事業名	産業分類（10分類）における支出内訳			
しごと創生	先駆タイプ	筑後川上流域の森林空間・森林資源を活用した、域内経済循環を高める自立・広域的産業クラスターの形成	日田市総額 11,127,400円 (内、交付金額5,563,700円)	農林水産 3,996千円	製造 760千円	サービス 6,371千円

KPI	当初値 H28.3時点	実績値 H29.3時点	実績値 H30.3時点	備考
木材・木製品出荷額（家具を除く）	20,347 百万円	20,492 百万円	集計中	RESASの数値待ち（更新日未定）
新規林業就業者	15人	21人	43人	うきは市と合算。前年より22名増
新商品開発	0件	0件	4件	うきは市と合算。前年より4件増



実施事業／事業費	
森林資源活用システム構築事業 3,996千円	市有林をモデルに、森林の基本情報等の整備と森林管理システムの構築、実証を行い、民間事業者への活用を図るもの
木育推進事業 54千円	木育関連の講演会の開催により市民意識の醸成を図るもの
木の香るまちづくり事業 2,344千円	公共施設、公共的施設や不特定多数が利用する民間店舗等の木質化に対する支援を行うもの
地域材ブランド化促進事業 150千円	今後見込まれる需要に対応した、流通加工に係る森林認証（CoC認証）のグループ認証や、製材JASの取得を支援するもの
木材製品デザイン力向上事業 1,110千円	クラフト製品や玩具等の木材製品のデザイン力向上のための研修会や木材を利用した新商品開発に対し支援を行うもの
森林アウトドアスポーツ環境整備事業 994千円	市有林を活用した健康づくり空間の整備をするための調査を行うもの
森林資源流通実態調査 2,480千円	市場や製材所等を対象に、原木、製材品等の流通実態の把握・課題抽出調査を行うもの

◆事業効果	
①	<p>①地方創生に非常に効果的であった ②地方創生に相当程度効果があった ③地方創生に効果があった ④地方創生に対して効果がなかった</p> <p><凡例> ①全てのKPI目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合 ②一部のKPIが目標値に達しなかったものの、おおむね成果が得られたとみなせる場合 ③KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・改善したとみなせる場合 ④KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても全身・改善したとは言い難いような場合</p>
◆実施計画に記載された自立化の見込み	
①	<p>①あり（自主財源による自立） ②あり（地方公共団体の一般財源による負担） ③なし</p> <p><この事業における自立化> 森林資源、森林空間の活用を目指した事業を展開することにより、新たな付加価値を生み出し、雇用の創出が自立的に展開されることを想定。</p>
◆自立化の見込み「あり」と回答した場合、平成29年度事業を踏まえた自立化の進捗	
②	<p>①見込みを上回って自主財源等確保 ②見込みどおり自主財源等確保 ③見込みを下回って自主財源等確保 ④自主財源等の目処はたっていない</p> <p><この事業における自立化> 森林資源、森林空間の活用を目指した事業を展開することにより、新たな付加価値を生み出し、雇用の創出が自立的に展開されることを想定。</p>

「筑後川上流域の森林空間・森林資源を活用した、域内経済循環を高める自立・広域的産業クラスターの形成」事業

1年目(H28)	2年目(H29)	3年目(H30)	4年目(H31)	5年目(H32)
<p>【事業名(事業内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林資源活用システム構築事業 市有林の基本情報等の整備と森林施業システムの構築 木育推進事業 木育関連の講演会等の開催による市民意識の醸成 木の香るまちづくり事業 公共施設、公共的施設や不特定多数が利用する民間店舗等の木質化に対する支援 	<p>【事業名(事業内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林資源活用システム構築事業 市有林の基本情報等の整備と森林施業システムの構築 木育推進事業 木育関連の講演会等の開催による市民意識の醸成 木の香るまちづくり事業 公共施設、公共的施設や不特定多数が利用する民間店舗等の木質化に対する支援 地域材ブランド化促進事業 今後見込まれる需要に対応した、流通加工に係る森林認証（CoC認証）のグループ認証取得支援、製材JASの取得支援 木材製品デザイン力向上事業 クラフト製品や玩具等の木材製品のデザイン力向上のための研修会や木材を利用した新商品開発への支援 森林アウトドアスポーツ環境整備事業 市有林等を活用した、健康づくり空間の整備に係る調査 森林資源流通実態調査 市場や製材所等を対象に、原木、製材品等の流通実態の把握・課題抽出調査 	<p>【事業名(事業内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 木育推進事業 木育関連の講演会等の開催による市民意識の醸成 木の香るまちづくり事業 公共施設、公共的施設や不特定多数が利用する民間店舗等の木質化に対する支援 木材製品デザイン力向上事業 クラフト製品や玩具等の木材製品のデザイン力向上のための研修会や木材を利用した新商品開発への支援 森林アウトドアスポーツ環境整備事業 市有林等を活用した、健康づくり空間の整備 	<p>【事業名(事業内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 木育推進事業 木育関連の講演会等の開催による市民意識の醸成 木の香るまちづくり事業 公共施設、公共的施設や不特定多数が利用する民間店舗等の木質化に対する支援 木材製品デザイン力向上事業 クラフト製品や玩具等の木材製品のデザイン力向上のための研修会や木材を利用した新商品開発への支援 	<p>【事業名(事業内容)】</p> <p>事業なし</p>
<p>【事業の目的】</p> <p>森林空間・森林資源、既存の関連産業における産業資源に係る現状把握を行うとともに、市民の地域資源に対する意識の醸成を図る。</p>	<p>【事業の目的】</p> <p>産業資源の評価をベースに、ビジネスモデルの構築を行うとともに、ビジネスの受け皿となる地域における周辺環境の整備を行う。 また、市民の地域資源に対する意識の醸成を図る。</p>	<p>【事業の目的】</p> <p>産業資源の評価をベースに、ビジネスモデルの構築を行うとともに、ビジネスの受け皿となる地域における周辺環境の整備を行う。 また、市民の地域資源に対する意識の醸成を図る。</p>	<p>【事業の目的】</p> <p>市民の地域資源に対する意識の醸成を図るとともに、森林資源・森林空間活用型ビジネスの展開を通じ、日田市・うきは市の関連産業の連携をより強固なものとし、両市の圏域内での経済循環を高める。</p>	<p>【事業の目的】</p> <p>日田市・うきは市の中で、森林資源の流通・活用が円滑に図られ、木材関連産業の高度化、及び森林空間を活用した新たな事業の展開により、圏域が一体となった新たな産業クラスターの確立を図る。</p>
【重要業績評価指標(KPI)】 ※うきは市との合算				
木材・木製品出荷額：20,350千円 新規林業就業者：23人	木材・木製品出荷額：20,520千円 新規林業就業者：28人 新商品開発：2件	木材・木製品出荷額：20,835千円 新規林業就業者：29人 新商品開発：2件	木材・木製品出荷額：21,150千円 新規林業就業者：30人 新商品開発：3件	木材・木製品出荷額：21,465千円 新規林業就業者：32人 新商品開発：3件

地方創生推進交付金 事業実施報告（様式1）

○回答欄について

: 記述式 : プルダウン選択式 : 半角数字での記述式

都道府県名	福岡県	市町村名	うきは市
コード	40225		

担当部署課名	企画財政課企画調整係	担当者氏名	手島直樹
メールアドレス	kikaku@city.ukiha.lg.jp	電話番号	0943-73-9152

注) 都道府県名及び市町村名をプルダウンで選択（都道府県の回答の場合、市町村名は不要）
注) コードは自動で表示（記載不要）。

※ 事業実施報告は「事業ごとに」それぞれ1ファイル作成してください。

I. 推進交付金事業の振り返り

A. 基礎情報

1. 本事業の事業名称、実績額、単独事業と広域事業の別、事業実施計画の申請時点のテーマをお聞かせください。【全員】

事業名称	平成29年度 実績額 [単位: 円]	単独事業と広域事業の別	事業実施計画(申請)段階のテーマ	事業タイプ	事業開始年度	事業実施期間
筑後川上流域の森林空間・森林資源を活用した、域内経済循環を高める自立・広域的産業クラスターの形成	総額 ¥70,667,180 うち国費 ¥35,333,590 うち単費 ¥35,333,590	市広（代表）	【しごと創生】農林水産分野	先駆タイプ	H28年度	5年

注) 推進交付金交付要綱 別紙様式II 実績報告書で報告した金額（円単位）を記載。↑

注) 単独事業と広域事業の別、事業タイプは自動で表示（記載不要）。

1-1. 推進交付金の対象経費の支出内訳について、貴団体が支払った相手先の業種別（①～⑩）にお聞かせください。【全員】

平成29年度の事業の 支出の内訳 [単位: 千円] ※概数で結構です※ ※「千円」単位でご記入下さい。											推進交付金 交付対象経費の 支出額(合計) [単位: 千円]
①農林水産	②建設	③製造	④情報通信	⑤運輸・郵便	⑥商業 (卸・小売)	⑦金融・保険	⑧不動産・ 物品賃貸	⑨サービス	⑩その他	①～⑩の合計	
0	32,259	2,356	0	215	80	0	0	35,707	50	70,667	70,667

注) 支払い相手先業種別の内訳は、概数で結構です。（合計が、最右欄の推進交付金交付対象経費の支出額合計に概ね一致しているかご確認ください。）

注) 支払い毎に、支払相手が属する業種①～⑩欄に当該支払額を加算してください。

注) ある支払い先が①～⑩のどの産業分類に該当するか判断することが難しい場合には、「別紙」設問1（産業分類）シートを参照し、代表的な産業分類に計上ください。

B. KPIの設定・成果

○本事業における重要業績評価指標（KPI）の設定、及び成果の確認【全員】

2. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称、意味付け、当初値・目標値・実績値等について、お聞かせください。

※KPIが5つ以上ある場合には、右欄外の表（設問2追加記入欄）にご記入ください。

	KPI 1	KPI 2	KPI 3	KPI 4	KPI 5																																																																																		
ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称 ※事業実施計画を確認してご記入ください。	木材・木製品出荷額（家具を除く）	新規林業就業者数	新商品開発数																																																																																				
イ. KPI の分類 ※右記の凡例より選択ください。	④総合的なアウトカム	④総合的なアウトカム	③交付金事業のアウトカム																																																																																				
ウ. KPI の対象 ※単独事業の場合は必ず②となります。	①連携地方公共団体の総体 として目指す水準	①連携地方公共団体の総体 として目指す水準	①連携地方公共団体の総体 として目指す水準																																																																																				
エ. KPI の意味付け	<p><凡例：選択肢> 注) 下記①～④で想定するKPIの具体イメージについては、「別紙」設問2（KPIの意味付け・分類）シートをご参照ください。</p> <table border="1"> <tr> <td>① インプット</td> <td>交付金事業に投入される資源（ヒト・モノ・カネ・時間）</td> </tr> <tr> <td>② アウトプット</td> <td>交付金事業による活動量（仕事の量・頻度・投下時間）</td> </tr> <tr> <td>③ 交付金事業のアウトカム</td> <td>交付金事業から直接的にもたらされる成果・効果</td> </tr> <tr> <td>④ 総合的なアウトカム</td> <td>様々な事業・施策・政策の総体によって得られる成果・効果</td> </tr> </table>					① インプット	交付金事業に投入される資源（ヒト・モノ・カネ・時間）	② アウトプット	交付金事業による活動量（仕事の量・頻度・投下時間）	③ 交付金事業のアウトカム	交付金事業から直接的にもたらされる成果・効果	④ 総合的なアウトカム	様々な事業・施策・政策の総体によって得られる成果・効果																																																																										
① インプット	交付金事業に投入される資源（ヒト・モノ・カネ・時間）																																																																																						
② アウトプット	交付金事業による活動量（仕事の量・頻度・投下時間）																																																																																						
③ 交付金事業のアウトカム	交付金事業から直接的にもたらされる成果・効果																																																																																						
④ 総合的なアウトカム	様々な事業・施策・政策の総体によって得られる成果・効果																																																																																						
エ. KPI の当初値	<p>【注意】設問ウにおいて、「①連携地方公共団体の総体」と回答した場合は、代表地方公共団体が否かによって以下の通り記載方法が異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 代表地方公共団体の場合：「貴地方公共団体としての実績値」ではなく、あくまで「連携地方公共団体総体としての実績値」をご記入ください。 代表地方公共団体以外の場合：当該KPIに関しては記載不要です。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>当初値</th> <th>[単位]</th> <th>当初値</th> <th>[単位]</th> <th>当初値</th> <th>[単位]</th> <th>当初値</th> <th>[単位]</th> <th>当初値</th> <th>[単位]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20,347</td> <td>百万円</td> <td>15</td> <td>人</td> <td>0</td> <td>件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">計測年月</th> <th colspan="2">計測年月</th> <th colspan="2">計測年月</th> <th colspan="2">計測年月</th> <th colspan="2">計測年月</th> </tr> <tr> <td>平成</td> <td>28年</td> <td>3月</td> <td>平成</td> <td>28年</td> <td>3月</td> <td>平成</td> <td>28年</td> <td>3月</td> <td>平成</td> <td>28年</td> <td>3月</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成28年度からの継続事業の場合のみ、自動表示されます。平成29年度新規事業の場合は「-」のままご記入ください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>当初値</th> <th>[単位]</th> <th>当初値</th> <th>[単位]</th> <th>当初値</th> <th>[単位]</th> <th>当初値</th> <th>[単位]</th> <th>当初値</th> <th>[単位]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20,492</td> <td>百万円</td> <td>21</td> <td>人</td> <td></td> <td>件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	20,347	百万円	15	人	0	件					計測年月		計測年月		計測年月		計測年月		計測年月		平成	28年	3月	平成	28年	3月	平成	28年	3月	平成	28年	3月	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	20,492	百万円	21	人		件																								
当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]																																																																														
20,347	百万円	15	人	0	件																																																																																		
計測年月		計測年月		計測年月		計測年月		計測年月																																																																															
平成	28年	3月	平成	28年	3月	平成	28年	3月	平成	28年	3月																																																																												
当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]																																																																														
20,492	百万円	21	人		件																																																																																		
エ. KPI の目標値設定	<p>【注意】設問ウにおいて、「①連携地方公共団体の総体」と回答した場合は、代表地方公共団体が否かによって以下の通り記載方法が異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 代表地方公共団体の場合：「貴地方公共団体としての実績値」ではなく、あくまで「連携地方公共団体総体としての実績値」をご記入ください。 代表地方公共団体以外の場合：当該KPIに関しては記載不要です。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>百万円</td> <td>8</td> <td>人</td> <td>0</td> <td>件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">目標年月</th> <th colspan="2">目標年月</th> <th colspan="2">目標年月</th> <th colspan="2">目標年月</th> <th colspan="2">目標年月</th> </tr> <tr> <td>平成</td> <td>33年</td> <td>3月</td> <td>平成</td> <td>33年</td> <td>3月</td> <td>平成</td> <td>33年</td> <td>3月</td> <td>平成</td> <td>33年</td> <td>3月</td> </tr> </tbody> </table> <p>目標値や目標年月を、半角数字で記入することが出来ない、その他上表に記載困難な場合には、以下備考欄をご活用ください。</p>					目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	3	百万円	8	人	0	件					目標年月		目標年月		目標年月		目標年月		目標年月		平成	33年	3月	平成	33年	3月	平成	33年	3月	平成	33年	3月																																								
目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]																																																																														
3	百万円	8	人	0	件																																																																																		
目標年月		目標年月		目標年月		目標年月		目標年月																																																																															
平成	33年	3月	平成	33年	3月	平成	33年	3月	平成	33年	3月																																																																												
カ. 事業実施計画の申請時点での、KPI の目標値設定	<p>カ. 平成28年度単体の目標値(増分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>170</td> <td>百万円</td> <td>5</td> <td>人</td> <td>2</td> <td>件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>キ. 平成29年度単体の目標値(増分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>173</td> <td>百万円</td> <td>13</td> <td>人</td> <td>2</td> <td>件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ク. 上記カとキの累計(自動表示)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,118</td> <td>百万円</td> <td>17</td> <td>人</td> <td>10</td> <td>件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">目標年月</th> <th colspan="2">目標年月</th> <th colspan="2">目標年月</th> <th colspan="2">目標年月</th> <th colspan="2">目標年月</th> </tr> <tr> <td>平成</td> <td>33年</td> <td>3月</td> <td>平成</td> <td>33年</td> <td>3月</td> <td>平成</td> <td>33年</td> <td>3月</td> <td>平成</td> <td>33年</td> <td>3月</td> </tr> </tbody> </table> <p>ケ. トータル事業終了時点 ※事業実施計画を確認し、複数事業の終了時点をご記入ください。 (単年事業の場合はキと一致)</p>					目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	170	百万円	5	人	2	件					目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	173	百万円	13	人	2	件					目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	1,118	百万円	17	人	10	件					目標年月		目標年月		目標年月		目標年月		目標年月		平成	33年	3月	平成	33年	3月	平成	33年	3月	平成	33年	3月
目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]																																																																														
170	百万円	5	人	2	件																																																																																		
目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]																																																																														
173	百万円	13	人	2	件																																																																																		
目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]																																																																														
1,118	百万円	17	人	10	件																																																																																		
目標年月		目標年月		目標年月		目標年月		目標年月																																																																															
平成	33年	3月	平成	33年	3月	平成	33年	3月	平成	33年	3月																																																																												
コ. 備考欄																																																																																							

【注意】設問1において、「①連携地方公共団体の総体」と回答した場合は、代表地方公共団体が否かによって以下の通り記載方法が異なります。
 ・代表地方公共団体の場合：「貴地方公共団体としての実績値」ではなく、あくまで「連携地方公共団体総体としての実績値」をご記入ください。
 ・代表地方公共団体以外の場合：当該KPIに関しては記載不要です。

事業終了時点での、KPIの実績値	(継続事業のみ) サ. 平成28年度の事業実施による実績値	実績値(増分)	[単位]	実績値(増分)	[単位]	実績値(増分)	[単位]	実績値(増分)	[単位]	実績値(増分)	[単位]
		145	百万円	6	人	0	件				
	シ. 平成29年度の事業実施による実績値 ※達成度合いは、設問中の目標値に対する達成度合いが自動表示されます。目標値や実績値を半角数字で記入出来ない場合は、プルダウンで選択ください。	実績値(増分)	[単位]	実績値(増分)	[単位]	実績値(増分)	[単位]	実績値(増分)	[単位]	実績値(増分)	[単位]
			百万円	28	人	4	件				
	ス. 平成29年度の事業終了時点の実績値累計 ※達成度合いは、設問中の目標値に対する達成度合いが自動表示されます。目標値や実績値を半角数字で記入出来ない場合は、プルダウンで選択ください。	実績値(増分)	[単位]	実績値(増分)	[単位]	実績値(増分)	[単位]	実績値(増分)	[単位]	実績値(増分)	[単位]
		144.7	百万円	34	人	4	件				
	セ. 備考欄	実績値や年月を、半角数字で記入することが出来ない、その他上表に記載困難な場合には、以下備考欄をご活用ください。 KPI1については、毎年実施される工業統計を基礎資料としてRESASより公表される予定									
(目標値未達の場合のみ)実績値累計の目標未達理由 ※設問中の「目標値に対する達成度合い」の回答結果を踏まえて、目標値未達の場合のみご記入ください。	ソ. 最も影響の大きい理由										
	タ. 次に影響の大きい理由 ※特に設問で①外的要因を選択した場合はご回答ください。										
		<凡例：選択肢> ① 外的要因 ② 計画不適切 ③ その他 ④ 不明 ⑤ 事業未実施 「③その他」を選択した場合は、その内容をご記入ください。									

2-1. ご記入いただいたKPIの内、本事業において代表的なKPIと考えるKPIをお選びください。(最大3つまで) ※上記左から、KPI1、KPI2、KPI3の順で並んでいます。

代表的KPI		
KPI2	KPI3	KPI1

○交付金事業の地方創生への効果 【全員】

3. 設問2のス「目標値に対する達成度合い」の回答結果を踏まえて総合的にご判断の上で、本交付金事業の地方創生への効果について、お聞かせください。

事業効果
① 地方創生に非常に効果的であった

<凡例：選択肢>

① 地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
② 地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③ 地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④ 地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言えないような場合

C. 自立性担保の進捗

○自立性の進捗状況

4. 実施計画をご覧ください。

「先駆性に係る取組」の「(1)自立性」の「3～5年以内の自立化の見込み」で回答した選択肢をお選び下さい。

実施計画に記載された自立化の見込み
①あり(自主財源による自立)

注) 横展開タイプ、隘路打開タイプでは、選択肢②における「地方公共団体の一般財源による負担」に、事業収入や会員からの収入などのほかにも、行革努力による一般財源の捻出などが含まれます。

<凡例：選択肢>

① あり(自主財源による自立)
② あり(地方公共団体の一般財源による負担)
③ なし

4-1. 設問4で「あり(①もしくは②)」と回答いただいた方のみ、お答えください。

実施計画に記載された自立化の見込みは、当初の見込みどおりに進捗していますか。

平成29年度事業を踏まえた自立化の進捗
②見込みどおり自主財源等確保

<凡例：選択肢>

① 見込みを上回って自主財源等確保
② 見込みどおり自主財源等確保
③ 見込みを下回って自主財源等確保
④ 自主財源等確保の目処はたっていない

○自立化の課題 【全員】

5. 平成29年度事業を踏まえて、取組みの自立化に向けて課題と感じていらっしゃることを、可能な範囲で具体的に記入ください。

(観念の例：収入・財源の確保、ビジネスモデル、事業推進体制、技術・ノウハウを有する人材など)

2市の広域連携事業であるが、両市でそれぞれで取り組んできた期間や経過、予算、市の経済規模、また、それぞれの市の事業全体中での当該事業の優先度等が異なるため元々取組みに相当の差が生じていた。今回検証を行ったところ、製品出荷額などの市場規模では、日田市とときは市で4倍程度の格差が見られた。引き続き地域資源である木材関連産業と林業活性化を目指して取り組んでいるが、両市で既存団体と調整をして大きな流れを作り、効果を発揮するため多少時間を要しており難しさを感じている。

D. 事業の実施状況

○事業実施時に留意した項目 【全員】

6. 貴団体が本事業を実施するにあたって留意した項目について、お聞かせください。(〇はいつでも)

注) 各項目の詳細は、内閣府から公表している「地方創生事業実施のためのガイドライン」総論-Ⅲ.事業化プロセス編に記載していますので、必要に応じてご参照ください。

【事業アイデア・事業手法の検討段階】

- ア. 地域住民や利害関係者との話し合いを通じて課題やニーズを明確化している
- イ. 定量的・客観的な分析を通じて地域の実態やニーズを捉えている
- ウ. 地域の特色ある資源や強みを活用している
- エ. 事業手法の検討に外部人材・知見を活用している
- オ. 異なる分野の政策を組み合わせた事業とするため、団体内の複数部署や様々な分野の民間企業と連携している
- カ. スケールメリットや人材・ノウハウ融通のため、複数の地域間で連携している
- キ. 事業実施体制の構築において、地域の企業・団体等の既存組織・ネットワークを活用している
- ク. 関係者の役割・責任について明確化している

【事業の具体化段階】

- ケ. 資金調達の方法や事業採算性など事業が継続性をもって自走していくことのできるプロセスを明確化している
- コ. 経営視点からの検証のため、事業実施経験のある人材を活用している、または知見ある外部専門家から助言を受けている
- サ. 事業終了までの詳細な工程計画(四半期単位、月単位等)を策定している
- シ. 事業と直接性があり、客観的な成果を表すKPIを選定し、妥当な水準の目標値を設定している

【事業の実施・継続段階】

- ス. 事業実施主体間で定期的にコミュニケーションを行っている (セ. 左記コミュニケーションの頻度 ③半期に1回程度)
- ソ. KPIの進捗について定期的に管理している (タ. 左記進捗管理の頻度 ③半期に1回程度)
- チ. 担い手となるキーパーソンや、事業を継続的に進めていくマンパワーを確保している
- ツ. 事業の目的・目標や生じつつある効果等の現状、事業がもたらすメリットについて情報発信し、事業実施に対する納得感を醸成している
- テ. 地域住民・事業者や利害関係者が事業の推進や改善に参加できる仕組みをつくっている

<凡例：選択肢> (セ、タ共通)

① 月1回以上
② 四半期に1回程度
③ 半期に1回程度
④ 1年に1回程度

【事業の評価・改善段階】

- ト. 外部組織や議会等により事業の効果を多角的に評価検証している
- ナ. KPIの達成状況を定期的に確認し、未達成の場合はその要因を分析している
- ニ. 事業の評価を踏まえて対応策を決定し、実行に移している
- ノ. 事業の改善方針について次年度以降の事業計画に反映している

E. 効果検証

○議会による効果検証 【全員】

7. 議会による効果検証の有無、時期について、お聞かせください。

Table with columns for '議会による効果検証の有無' and '議会による効果検証の時期'. Includes a selection box for '①実施した' and a date field 'H 30 年 8 月'.

<凡例：選択肢>

- ① 実施した ② 実施予定 ③ 実施しない（予定）

○外部組織による効果検証 【全員】

8. 外部組織による効果検証の時期、本事業の評価について、お聞かせください。

Table with columns for '外部組織による効果検証の有無', '外部組織による効果検証の時期', and '外部組織による本事業の評価'. Includes a selection box for '①実施した' and a date field 'H 30 年 5 月', and a text box for '① 地方版総合戦略のKPI達成に有効であった、との意見'.

<凡例：選択肢>

- ① 地方版総合戦略のKPI達成に有効であった、との意見 ② 地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えない、との意見

○事業実施状況の見直し

9. 設問7または設問8で「①実施した」と回答いただいた方のみ、お答えください。

議会または外部組織による効果検証を通じた、事業の実施状況の見直しについて、お聞かせください。

Table with columns for '効果検証を通じた事業見直しの状況'. Includes a selection box for '①効果検証において「改善が必要」との指摘はなく、事業は適切に実施されている'.

<凡例：選択肢>

- ① 効果検証において「改善が必要」との指摘はなく、事業は適切に実施されている ② 効果検証において「改善が必要」との指摘があったものの、適切な改善が図られている ③ 効果検証において「改善が必要」との指摘があったが、現状では適切な改善が図られていない

F. 事業を進める中での課題・苦労、及びそれに対する取組の修正・改善

10. 平成29年度の事業を進める中での課題・苦労について、お聞かせください。 【全員】

Table with columns for '事業を進める中での課題・苦労の有無' and '①課題・苦労があった'.

<凡例：選択肢>

- ① 課題・苦労があった ② 課題・苦労はほとんどなかった ③ 課題・苦労は全くなかった

10-1. 設問10で「①課題・苦労があった」と回答いただいた方のみ、お答えください。以下の中から、特に苦労したことを最大で3つまで、お聞かせください。

Table with columns for '特に苦労したこと（3つまで）」 and '①事業推進体制の検討 ⑦庁外・組織外（地域内・地域外の事業者、住民）との調整・合意形成'.

<凡例：選択肢>

- ① 事業推進体制の検討 ② 事業経営や技術ノウハウを有する人材の確保・育成 ③ ビジネスモデル・資金繰りの検討 ④ 事業実施場所（施設・設備）の検討 ⑤ 規制・許認可への対応 ⑥ 庁内・組織内（幹部、原課、財政課等）との調整・合意形成 ⑦ 庁外・組織外（地域内・地域外の事業者、住民）との調整・合意形成 ⑧ 連携先の地方公共団体との調整・合意形成 ⑨ その他（例：予期せぬ外部環境変化が起こった等） ※⑧については、広域事業の場合のみ、選択ください。

「⑨その他」を選択した場合は、その内容を具体的にご記入ください。

10-2. 設問10-1を回答いただいた方のみ、お答えください。設問10-1の課題・苦労に対応して、取組を進めながら修正・改善を行われた場合、その内容について、可能な範囲で具体的にご記入ください。

注）事業実施計画の申請時点での想定との相違点に対し、取組の事中（平成29年度内）において、修正・改善により取組を前進させた点をお聞かせください。

Text input area for 10-2.

11. 平成30年度以降も継続して事業を実施する団体のみ、お答えください。

平成29年度の事業実施・成果を踏まえて、平成30年度以降における取組の修正・改善について、可能な範囲で具体的にご記入ください。

注）事業実施計画の申請時点での対比で、平成29年度事業成果を踏まえたPDCAによる事業改善の観点から、取組を修正・改善させる点をお聞かせください。

Text input area for 11.

G. 今後の事業展開方針

12. 本事業の今後の方針について、お聞かせください。 【全員】

Table with columns for '今後の方針' and '①事業の継続（計画通りに事業を継続する）'.

<凡例：選択肢>

- ① 事業の継続（計画通りに事業を継続する） ② 事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる） ③ 事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う（または、行った）） ④ 事業の中止（継続的な事業実施を予定していたが中止する（または、した）） ⑤ 事業の終了（当初予定通り事業を終了する（または、した））

II. その他

○事例の自己推薦 【全員】

13. 「地方創生関係交付金の活用事例集」の掲載事例として、本事業を取り上げるべきかについて、理由とともにお聞かせください。

Table with columns for '事例の自己推薦' and '⑤特に推薦しない'. Includes a selection box for '④その他の理由により推薦する」を 選択した場合の推薦理由'.

<凡例：選択肢>

- ① 計画を上回る大きな効果を上げた事業として推薦する ② 課題解決のための取組内容が他団体の参考となるため推薦する ③ 課題や苦労が他団体への示唆に富むため推薦する ④ その他の理由により推薦する ⑤ 特に推薦しない

○他の地方創生関係交付金の活用状況 【全員】

14. 平成28年または平成29年当初・推進交付金を活用した本事業と密接な関係性を有する事業として、その他の地方創生関係交付金を活用していますか。（○はい/□でも）

- 平成26年補正・地方創生先行型交付金を活用した。 □ 平成27年補正・地方加速化交付金を活用した。 □ 平成28年補正・地方創生拠点整備交付金を活用した。 □ 平成29年補正・地方創生拠点整備交付金を活用している。 □ 平成30年当初・地方創生推進交付金を活用している。 ○ 平成28年または平成29年当初・推進交付金以外に地方創生関係交付金活用実績はない。

○ガイドライン、事例集の活用状況

15. 内閣府から公表している「地方創生事業実施のためのガイドライン」や「地方創生関係交付金の活用事例集」の活用状況について、お聞かせください。 【全員】

注）本事業への活用に限らず、貴団体における地方創生事業全体に関する認識としてお答えください。

Table with columns for 'ガイドライン、事例集の活用状況' and '②活用していない'.

<凡例：選択肢>

- ① 活用している ② 活用していない ③ ガイドライン、事例集の存在を知らなかった

15-1. 設問15で「①活用している」と回答いただいた方のみ、お答えください。以下の中から特に活用した項目を、お聞かせください。（○はい/□でも）

- 先駆性要素 □ KPIの設定 □ 事業化プロセス(総論) □ 事業化プロセス(各論) □ 事例集

15-2. 設問15で「①活用している」と回答いただいた方のみ、お答えください。ガイドライン、事例集の活用方法について、お聞かせください。（○はい/□でも）

- 地方創生交付金事業のテーマ探しや計画策定にあたり参照している □ 地方創生交付金事業の実施・運営にあたり参照している □ 地方創生交付金事業以外の事業のテーマ探しや計画策定にあたり参照している □ 地方創生交付金事業以外の事業の実施・運営にあたり参照している

○ガイドライン、事例集に関する意見・要望 【全員】

16. 内閣府から公表している「地方創生事業実施のためのガイドライン」や「地方創生関係交付金の活用事例集」についてのご意見・ご要望がありましたら、お聞かせください。

Text input area for 16.

以上で全て終了です。